

本時のねらい

記事の内容（見出し・リード・本文）を根拠にして、関連する資料としてふさわしい写真を選ぶことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Microsoft Whiteboard に記事・写真・付箋などを配置し操作することで、考えたことをわかりやすく伝えることができる。
- ・Microsoft Excel の自己チェックシートを確認し、一人ひとりがねらいを理解して、学習に参加したり振り返ったりすることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Microsoft Whiteboard
- ・Microsoft Excel
- ・Microsoft Teams
- ・大型モニタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○学習のめあてを確認する。 「記事にふさわしい写真を選びましょう。」 【写真1】	○大型モニタで言語能力・情報活用能力に関わる「自己チェックシート」(Excel)を提示し、めあてを具体的に理解させる。 ○「自己チェックシート」は言語能力や情報活用能力に関わる本時の目標を、児童がメタ認知するためのシートである。
展開 (30分)	○A社・B社の新聞について、それぞれの車いすバスケットボールの記事（見出し・リード・本文）にふさわしい写真を選んで整理する。 ○班の中でそれぞれの記事にふさわしい写真と選んだ理由を交流する。 【写真2】	○児童に配付するWhiteboardには、記事と写真を分けて、添付しておく。 ○児童はWhiteboard上で、記事と写真を整理する。 ○班の座席をグループの形にさせて、プレゼンテーションしやすいようにする。 ○児童が自分の画面を示しながら説明するように指導した。
まとめ (10分)	○A社・B社の実際の記事の写真を確認し、写真を選んだ理由が適切だったかふりかえる。 ○本時のふりかえりを「自己チェックシート」に入力する。 【写真3】	○大型モニタで提示した後、Teamsを通して学習者用端末に送る。 ○単元のはじめに「自己チェックシート」をTeamsを通して学習者用端末に送っておく。 ○本時の振り返りを「自己チェックシート」に入力しながら、次時の目標を確認し、次時の学習に活かすことができるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニタで「自己チェックシート」を提示している様子。



【写真2】記事にふさわしい写真と選んだ理由を発表している様子。



【写真3】本時のふりかえりを「自己チェックシート」に入力している様子。

児童生徒の反応や姿容

- ・Whiteboard に配置された記事に線や矢印等を入れて、見出し・リード・本文を根拠に理由を考える姿が見られた。
- ・写真に写っているものをよく見て、記事内容と一致しているか、確認している児童が多かった。
- ・班での交流の際、Whiteboard のレーザーポインター機能を活用して、考えたことを伝える様子が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・単元の別の時間では、Whiteboard を3人から4人で共同編集しながら、新聞記事の見出しを考える活動を設定した。単元を通して同じデジタルツールを活用することで、児童が操作に習熟する機会を何度も設定することができた。
- ・単元の「自己チェックシート」をシンプルにし、端末上で簡単に入力できるようにしたので、児童のふりかえりがスムーズであった。
- ・「令和5年度 すくすくウォッチ わくわく問題」大問1(1)を参考に本時を計画した。